

「地域学校協働活動推進のための研修」

令和5年6月2日(金) 青森県総合社会教育センター第1研修室 受講者数67人(オンライン含む)

1 趣 旨

地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図る。

2 内 容

【講義】「地域と学校の連携・協働の推進について」

講 師 檜葉町地域学校協働センター長

檜葉町教育委員会指導主事

猿渡 智衛（さるわたり ともえ）氏

【事例報告】「青森県内各地区の取り組み報告（今別町・五戸町・三沢市）」

事例報告者 市町村教育委員会担当職員、地域学校協働活動推進員

3 講義要旨

○地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進の重要性 ～なぜやるのか？～

地域材を統合・ネットワーク化することで、教育効果を高めるとともに、参画する地域人材の「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域づくり」の意識を高めることで、計画的・継続的で安定的な地域と学校との連携・協働関係が構築され、結果として、地域に根差した学校となり、そこでの諸活動が地域づくりにつながるようになるため。

○地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進のための「仕組み」～どのようにやるのか？～

・教育委員会が主導して「檜葉町地域学校協働センター」の立ち上げ

・多様な地域学校協働活動の展開

①地域における社会教育の展開 ②学校教育における授業支援

③地域と学校の連携協働 ④学校施設を活用した地域連携

・地域住民のニーズに基づき、多様な形で参画可能



○地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進で目指す地域づくり ～何をを目指すのか？～

・地域政策としての地域学校協働活動という認識

・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に参画した地域住民のシビック・プライドが、地域づくりの大きな効果につながっていく可能性がある。

4 アンケート結果から

受講結果に満足 29人（87.9%）

どちらかと言えば満足 4人（12.1%）

どちらかと言えば不満 0人（0%）

不満 0人（0%）

- ・「学校のために地域が…」ではなく、「地域をよくするための1つが学校である」という発想が、なるほどと思いました。
- ・猿渡先生のスピード感溢れるご講義、あっという間の素晴らしい時間でした。私たちの活動の目的がより一層明確になり、今後の活動への意欲がみなぎってきました。
- ・学校と地域が手を取り合って地域づくりに取り組んでいる様子がよくわかりました。「地域運営学校」という表現がしっくりきました。推進センターの設立が功を奏していますし、校内に「地域サロン」があるなど、学校が地域住民にとっても貴重な場になっていると感じました。
- ・3市町村ともそれぞれの取組にオリジナリティーがあり、それぞれがとても参考になるものでした。資料や発表も分かりやすく、もっとたくさんの市町村の取組も聞いてみたいと思いました。猿渡先生の助言もとても参考になりました。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することは、未来・宝である子どもを育み、子どもが生きる地域をつくる活動になるもの」と猿渡先生はおっしゃっていました。地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進の重要性を改めて感じた研修会でした。